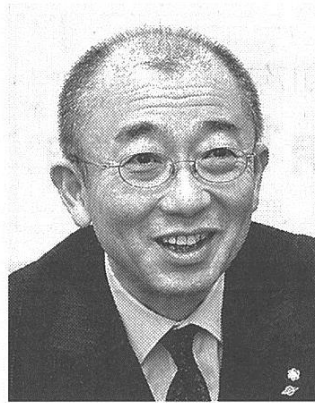


2017展望



今期（17年9月期）は売上高、利益すべてが過去最高を更新する見通しだ。新しい収益モデルを開拓する「重点化プロジェクト」が積み重なってきた。

建設コンサル

ACKグループ

野崎 秀則社長

グループ連携を一層拡大

重点化プロジェクトのうち、グループ会社が連携して展開する事業が全体の3分の1を占めた。東北、関東、北陸などのブロックごとにグループ各社が連携する仕組みをつくっている。各社の中堅幹部が集まる会合を年に8回開き、意見を交換して新しいプロジェクトが生まれる。事業によってはグループ企業間でJVを編成する。地域創生の

ための自主事業を展開しながら、コンサル本来の調査・設計業務の受注につなげる。海外はアフリカ、インドなど、南アジア、東南アジアの三つの市場に注力する。鉄道や道路分野の人材確保が受注を伸ばすカギを握る。おりエ（小型無人機）を飛ばして測量した3次元データの取得・解析なども行っている。ただ、使ってみなくては分からない。このための予算を編成して取り組む。グループ各社で連携し、課題を共有しながらブラッシュアップを図る。

計業務の受注につなげる。海外はアフリカ、インドなど、南アジア、東南アジアの三つの市場に注力する。鉄道や道路分野の人材確保が受注を伸ばすカギを握る。おりエ（小型無人機）を飛ばして測量した3次元データの取得・解析なども行っている。ただ、使ってみなくては分からない。このための予算を編成して取り組む。グループ各社で連携し、課題を共有しながらブラッシュアップを図る。